2025 年度
専門学校サンテクノカレッジ
学校関係者評価 報告書

評価対象期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

2026 年 10 月

学校関係者評価委員会

目　次

Ⅰ　学校関係者評価の概要と実施状況 - 1

1．学校関係者評価の目的

2．学校関係者評価委員名簿

3．学校関係者評価委員会の実施状況

Ⅱ　学校関係者評価委員会 評価結果報告 - 2

1．教育理念・目的・育成人材像 - 2

2．学校運営 - 2

3．教育活動 - 3

4．学修成果 - 3

5．学生支援 - 4

6．教育環境 - 5

7．学生の受入れ募集 - 5

8．財 務 - 6

9．法令等の遵守 - 6

１０．社会貢献・地域貢献 - 6

Ⅰ 学校関係者評価の概要と実施状況

1．学校関係者評価の目的

専門学校サンテクノカレッジの学校関係者評価の目的は、以下の通りである。

①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。

②本校の専門分野の関係団体、専門分野の関係業界、地元自治体、卒業生など、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2．学校関係者評価委員名簿

区　分	氏　名	所　属　等
関係団体	有 泉 一 廣	一般社団法人 山梨県情報通信業協会 事務局長
関係業界	※石 原 佳 典	株式会社ジインズ システムソリューション本部 シニアアドバイザー
	三 浦　誠	株式会社エスビーシー 代表取締役
地元自治体	丸 山 英 資	甲斐市 副市長
卒 業 生	徳 永　敏	サンテクノカレッジ同窓会 会長

※ 委員長

3．学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 第 1 回委員会

・日時：2026 年 9 月 30 日（水）13：30～16：00

・場所：専門学校サンテクノカレッジ　会議室

(2) 第 2 回委員会

・書面による学校関係者評価報告書の内容確認および承認。

II 学校関係者評価委員会 評価結果報告

1．教育理念・目的・育成人材像（評価結果 ／ 適切：5 名、不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●社会のニーズに対応した将来構想に沿った学校運営がなされており、教育理念・目的・育成人材像も定義され、周知されている。

●本校が目指す学校教育理念・目的・育成人材像が明確に明記され、学生に高い目標意識を持たせ、各レベルに応じた資格取得にチャレンジし成果を上げている。

●地域産業界の発展や情報教育の重要性を考え、最新技術習得に係る先生方の特色ある学習カリキュラムが充実している。

●情報化社会のニーズの多様化に対応した人材を育成するために、積極的に外部関係機関と連携した取り組みを行っている。また、新たにDX推進、生成AIに対応した授業への取り込みを行っている。

●システム開発ではデータベースも重要な要素の 1 つなので、情報システム科で学べるのはとても良い。

●卒業後の社会生活に不可欠な人間性について指導を行っている。

●AI、VR、AR、MR、ビッグデータ、セキュリティ技術など最新技術を授業に取り入れ、対応できるエンジニア育成を図っている。

【改善すべき点】

●項目 1-5 について、多くの卒業生を活用した業界ニーズの収集について検討したらどうか。

2．学校運営（評価結果 ／ 適切：5 名、不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●開校して 30 年以上が経過しているため、学校運営に関する各種規程が整備されており、各種活動も事業計画等に基づいて堅実かつ継続的に実施されている。

●教育目的に沿った運営方針・事業改革が定められている。

●運営組織委員会に外部有識者が多数任命されていて風通しが良い。

●教育活動に対する情報公開については、各種 IT ツールや学校パンフレットを活用し積極的に発信されている。

●業務の効率化を図る観点から、成績管理システム構築など必要な対策が取られている。

【改善すべき点】

●セキュリティ面は時代とともに変化するため、常に見直す必要がある。

3．教育活動（評価結果 ／ 適切：5 名、不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●教育理念や教育目標を実施すべき教育計画やカリキュラム体系に落とし込み、社会の変化に対応した教育活動を実践している。

●時代に求められている技術を多方面から情報収集し、現場の教育に積極的に取り組んでいる。

●学生のスキル習得・取り組みを各種認定・資格試験の受験やインターンシップの参加など、関連分野の外部団体と連携することで校内学習以外の教育活動を実践している。

●授業評価制度について、外部有識者を参加させ評価の透明性が図れている。

●教員が関連分野の先端的知識・技能を習得するための取り組みを継続的に実施している。

●常に新しい知識や技術を授業に取り入れ、学生が実践的な仕事に対応できるように工夫して授業を行っている。

●外部の関連分野の企業や組織と連携し、カリキュラムの見直しを行っている。

●資格取得に対してカリキュラムはもとより、個別指導を含めて体制を整えている。

●職員の研修で将来を見据えた学生確保のための研修に参加している。

●資格試験合格率、デザインコンテスト応募実績、出席率など複数の指標を参考に授業改善に取り組んでいる。

【改善すべき点】

●少子化や日本経済の長期低迷傾向により学校経営の厳しさが増す中、授業内容や教員の質の向上に向けた施策を実施する必要性を感じる。

●授業アンケートを実施していないため、客観的評価が不足している。信頼性の高い授業評価アンケートの設計と実施体制の早期構築が必要である。

●海外の学校や民間企業の視察も視野に入れてみてはいかがか。

4．学修成果（評価結果 ／ 適切：5 名、不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●就職内定率は 90%以上を維持しており、社会のニーズに合致したスキルを持った人材の育成ができている。

●就職率を向上させるための活動に積極的に取り組んでいる。

●退学者を減少させるために教員の各層で保護者も巻き込んでフォローしている。

●就職に向けたサポートができている。

●資格取得に向けたサポートができている。

●学生の努力だけでなく、学校の協力体制、先生方の指導も大きな要因と考えられる。

●変わらず就職内定率が高い。

●多くの学生が資格取得に挑戦し多数の合格者がいる。
●同窓会事務局を通じて、卒業生の近況の把握や SNS 発信、オープンキャンパスでの紹介など、卒業生の社会的活躍を把握している。
●企業採用担当者や卒業生からのヒアリング調査、同窓会との協力によりキャリア形成への効果を把握している。

【改善すべき点】
●学生と学業のミスマッチを見つけるのは大変だと思うが、引き続き退学率の低減に努めていただきたい。
●卒業生の追跡調査の仕組みの強化と、より多くの卒業生からの情報収集が必要である。

5．学生支援（評価結果 ／ 適切：5 名、不適切：0 名）

－委員コメント－
【評価できる点】
●就職指導委員会を設置し、学生一人ひとりの進路や就職活動状況を共有・把握することで、組織的な学生支援を実施している。
●同窓会総会及び懇親会を開催しており、多くの卒業生が参加している。
●教員を中心とした進路・就職活動が活発に実践されている。また、外部団体が開催している展示会イベントや就職ガイダンス等も積極的に活用しいている。
●学生に対する進路や生活に対する相談を実施している。また、経済的な支援や健康管理、サークル活動への支援も行っている。
●社会人に対するリスキリングの機会が増えてきている。社会人の受け入れ態勢も整備されている。
●学校内の教育活動に留まらず積極的に課外活動に参加することで、教員・学生間のコミュニケーションが強化されている。
●教職員の連携により、学生からの様々な相談に対応する仕組みが構築できている。
●大学院進学を目指す学生を支援し合格できる体制を整えている。
●卒業生が学び直せる制度がある。
●高校生インターンシップの受け入れを行い、キャリア教育を推進している。

【改善すべき点】
●卒業生とのネットワークを活用し、現役学生の就職支援につなげる仕組みの構築が望まれる。
●卒業生や社会人の学び直しの制度があるので、実際に利用できるように広く周知すると良いと思う。
●学生の多様な活動ニーズに対応する支援体制の拡充が必要である。

6．教育環境（評価結果 ／ 適切：5 名、不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●施設や機器の更新が計画的かつ定期的に実施されており、教育環境の維持・向上が適切になされている。

●キャンパス内の設備の改善や、時代とともに変化していくコンピュータ環境の改善にも積極的に取り組んでいる。

●積極的にインターンシップ等 Face-To-Face の学習に取り組んでいる。

●昨今、増加傾向にある災害に対する災害対策マニュアル等も見直し整備されている。

●学生が専門知識や技術を自由に学ぶための環境が整備されている。

●休み時間や放課後なども自習でき、講義室や演習室も整備されている。

●インターンシップへの働きかけができている。

●学内実習施設は十分に整備されている。

【改善すべき点】

●昨今の中東情勢に起因し、情報通信機器の調達が非常に困難であり、価格が高騰している。調達方法の見直しや検討が必要と思う。

●学生のインターンシップは、全学科・全学年への拡大と学生の要望に対応できる体制の整備が必要である。

7．学生の受入れ募集（評価結果 ／ 適切：5 名、不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●各種媒体を活用して学生募集活動を実施している。また、その効果を検証しながら媒体の選定や活用比率を適宜見直すなど、柔軟かつ効率的な募集活動を展開している。

●県や市主催の各種コンテストへ参加し、地域社会とのコミュニケーションも図られ、学校プレゼンス向上に取り組んでいる。

●学校の特色を教育活動を通じて県内外へ発信し、魅力ある学校教育活動が伝えられている。

●外部の展覧会やコンテストに積極的に参加し、学校活動の成果を伝えることができている。

●発信情報の中に記載できるコンテストなどの教育成果が多数ある。

【改善すべき点】

●人口減少の対策として、外国籍の人の受け入れも視野に入れて検討してみてはいかがか。

8．財 務（評価結果 ／ 適切：5 名、不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●安定した学校経営が行われており、財務状況についても健全性が確保されている。

●構内設備は老朽化に伴う機器等の更新等、中長期的な計画に基づき対応を実施している。また、情報公開等を実施しており運営の透明性に努めている。

●財務状況を公開することで学校運営の透明性が図られている。

●資金運用や施設・設備の修繕、退職金等、健全で安定した財務体制になっている。

●予算、収支の計画がなされ、実績の状況確認ができている。

●財政的に安定して運営ができている。

【改善すべき点】

●特になし

9．法令等の遵守（評価結果 ／ 適切：5 名・不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●法令等を遵守し、個人情報は規程を作って運用している。また、ネットワークは外部と遮断してセキュリティを確保している。

●サイバーセキュリティに対する脅威が高まってきているが、教職員、学生共に注意喚起を行い規則に則り運営している。

●法令・規則に従い、適切な運営ができている。

●個人情報保護に関する対応ができている（指導及び閉塞網上のシステム構築)。

●自己評価の問題点の把握と改善の検討・実施ができている。

●法令等の遵守は教員はもとより、学生に対しても授業等で指導している。

●個人情報専用パソコンをネットワークから隔離し、教職員に個人情報保護規程を周知している。また、学生に「情報倫理」や「情報リテラシー」の授業を通じて、セキュリティ教育を実施している。

【改善すべき点】

●特になし

１０．社会貢献・地域貢献（評価結果 ／ 適切：5 名・不適切：0 名）

－委員コメント－

【評価できる点】

●継続的かつ積極的に様々な外部活動に参加しており、社会・地域への貢献を実践している。
●地域社会のイベントに積極的に参加し、校内学習以外に地域社会との交わり方や地域貢献できる取り組みを積極的に実践している。特に地元団体と連携活動を行うことで学校活動に対する理解が深まっている。
●学校及び駐車場の必要に応じた施設開放に協力できている。
●災害時の緊急避難場所としての協定が結ばれている。
●学生へボランティア活動の大切さを啓蒙し、山梨県警察からの委嘱を受けたサイバー防犯ボランティア参加を支援している。

【改善すべき点】
●特になし